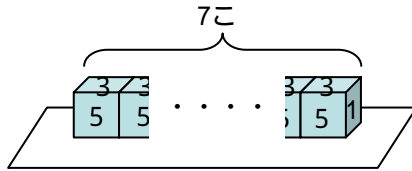


算数

(1) 見えているところの合計はいくつでしょう。サイコロはすべて同じむきでならんでいます。



(1)

(2) つぎのもんだいのとき方はどれですか。ア～ウから選びなさい。

もんだい：

お母さんが2歩歩く間にわたしは3歩歩きます。お母さんが10歩歩いたときわたしは何歩歩きましたか。

ア. お母さんが10歩歩いたのでわたしも10歩

イ. お母さんが10歩歩いたのでわたしは $3 \times 10 = 30$ 歩

ウ. お母さんは2歩が5回分で10歩。よって、わたしは3歩が5回分。 $3 \times 5 = 15$ 歩

(2)

(3) つぎのしきを計算するせつ明として正しいものはどれですか。ア～ウから選びなさい。

もんだい：

$$2 + 3 + 5 + 2 + 3 + 5 + 2 + 3 + 5 + 2 + 3 + 5 =$$

ア. $2 + 3 + 5$ が4回たされている。 10×4 とあらわすことができる

イ. 2が4回3が4回5が4回たされているので 235×4 とあらわすことができる

ウ. $2 + 3 + 5$ が12こあるので、 10×12 とあらわすことができる

(3)

国語

(1) つぎの文の主語^{しゅご}を答えなさい。

あの子はほんとうはとてもやさしい心のもちぬしだ。

ア. なし イ. あの子は ウ. ほんとうは エ. 心の

(2) つぎの()にはいるもっともよいことばはどれですか。ア～ウからえらびなさい。

ともだちは、きかれもしないのに、ひみつを()しゃべった。

ア. すらすら イ. べらべら ウ. ぺちゃくちゃ

(3) つぎの()内にあてはまらない文しょうをア～エからえらびなさい。

午前中は雨がはげしくふっていた。ところが()。

ア. 午後は晴れてきた

イ. 午後は雨が弱くなった

ウ. うんどう会は中止にならなかった

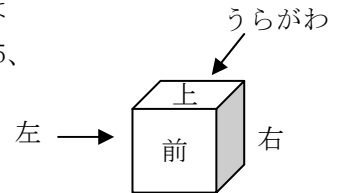
エ. 午後のはかみなりまでなりだした



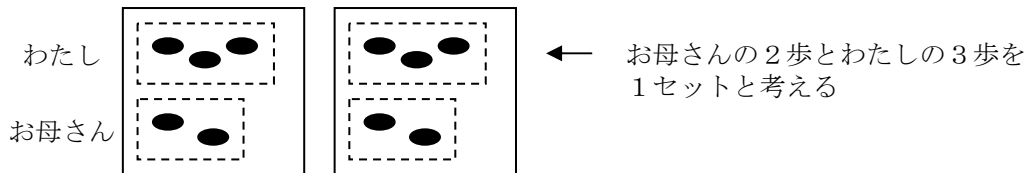
算数

- (1)77 (2)ウ (3)ア

(1)サイコロはでている目とそのうらがわの目をたすと7になるようにできています。たとえば、1の目がでていればそのうらがわにある目は6に、2の目がでていればそのうらがわにある目は5になります。前に見えている数は5、上に見えている数は3、5のうらがわに見えている数は2です。それぞれ7こならんでいるので、前に見えている数の合計は $5 \times 7 = 35$ 、上に見えている数の合計は $3 \times 7 = 21$ 、5のうらがわに見えている数の合計は $2 \times 7 = 14$ となります。あとは、右に見えている1と左から見える6をたせば答えがでます。 $35 + 21 + 14 + 1 + 6 = 77$ となります。



(2)お母さんの2歩が1回分でわたしは3歩を1回分歩きます。お母さんが4歩歩いたとき、お母さんの2歩が2回分になるのでわたしは3歩を2回分歩くことになります。お母さんが10歩歩いたときは、お母さんの2歩が5回分です。よって、わたしは3歩を5回分歩くということになります。 $3 \times 5 = 15$ 歩となります。



(3) $2 + 3 + 5 = 10$ これが4回くりかえされています。よって、10を4回たしたということになり 10×4 とあらわすことができます。

国語

- (1)イ (2)イ (3)エ

(1) じゅつ語はさいごにある「もちぬしだ」です。「もちぬし」なのはだれ、なに?と考えましょう。すると「あの子」が主語だとわかります。

(2) 「すらすら」はまちがわないで話すこと、「ぺちゃくちゃ」はたくさんしゃべるときにつかいます。ひみつなどをばらすときは「べらべら・ぺらぺら」をつかいます。

(3)あてはまらないものであることに注意しましょう。「ところが」のうしろには、まえにある文と反対のことや、ふつうだったらそうならないようなことが書かれます。エ. は前の文のうしろで、さらにわるいことがおきていますから、ほんたいのことやふつうだったらそうならないようなことではありません。

